

令和 4 年度個別作業実施報告

1、目的

「霧ヶ峰自然保全再生実施計画」及び「個別作業計画」に基づき、霧ヶ峰の生物多様性の保全・再生を推進するため、生態系を改変するおそれのあるオオハンゴンソウ等の外来種の駆除と、多様な植物の生育を促すためにニッコウザサ等の優占群落の刈取を行う。

2、実施期間

令和 4 年 5 月から令和 4 年 9 月

3、活動状況

種別	実施地区	作業内容	作業日	参加人数	作業実績	備考
外来種駆除	池のくるみ	ハルザキヤマガラシ駆除	5月28日(土)	29人	270kg	
	車山高原	ヘラバヒメジョオン・フランスギク駆除	6月23日(木)	37人	150kg	
	強清水湿地	オオハンゴンソウ駆除 (2回実施)	7月14日(木) 8月3日(水)	29人 31人	620kg 760kg	
	インターチェンジ草地	ヘラバヒメジョオン駆除	7月21日(木)	31人	140kg	
小計	4地区		5回	157人	1,940kg	
草原再生	インターチェンジ草地	ススキ群落刈取・搬出 ススキ積込	8月24日(水) 8月30日(火)	26人 5人	約0.7ha	刈取量 1,340kg
	車山肩東	ニッコウザサ群落刈取	9月4日(日)	14人	約1.0ha	
		ニッコウザサ群落搬出	9月6日(火)	17人		
小計	2地区		3回	62人	約1.7ha	
合計	6地区		8回	219人	1,940kg 約1.7ha	

新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、昨年度に引き続き今年度も一般のボランティアの募集を見送り、延べ 219 人の参加により作業を実施した。結果は、1,940kg の外来種の駆除と約 1.7ha の優占種の刈取を行うことができた。



ハルザキヤマガラシ駆除作業



ハルザキヤマガラシ駆除作業（作業後）



フランスギク駆除作業



フランスギク駆除作業（作業後）



オオハンゴンソウ駆除作業 堀取り



オオハンゴンソウ駆除作業 刈取り



オオハンゴンソウ搬出作業



オオハンゴンソウ搬出作業



ヘラバヒメジョオン駆除作業



ヘラバヒメジョオン駆除作業



ススキ刈取作業



ススキ搬出作業



刈り取ったススキ



ススキ刈取搬出（作業後）



ススキ運搬



ススキ運搬（堆肥化施設へ持込）



ニッコウザサ刈取作業



ニッコウザサ刈取作業（作業後）



ニッコウザサ搬出作業



ニッコウザサ搬出作業

第1号議案

令和4年度電気柵等の設置状況

1、目的

ニッコウキスゲ等の貴重な高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において八島ヶ原湿原やニッコウキスゲの群生地には防鹿電気柵等を設置する。

2、実施時期

令和4年5月上旬から令和4年10月中旬

3、活動状況

設置場所	設置時期	概要	設置主体
① インターチェンジ前園地	令和4年5月上旬	電気柵 約2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 車山地区	令和4年5月上旬	電気柵 約4.6km	車山高原観光協会
③ 車山肩地区	令和4年5月7日 令和4年5月10日	電気柵 約2.5km 〔うち0.4kmは 丈の低い二重柵〕	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合) (霧ヶ峰高原牧野農業協同組合)
④ 富士見台西側	令和4年5月11日	電気柵 約0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (下桑原牧野農業協同組合)
⑤ 八島ヶ原湿原	常設	鋼鉄柵 約4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約9.9km 鋼鉄柵 約4.0km 計 約13.9km	

今年度はニッコウキスゲが一気に開花し、多くの観光客に楽しんでいただくことができた。また、令和2年度から延長した「③車山肩地区」西側でも、ニッコウキスゲやヤナギランの開花が見られ、電気柵の有効性が確認された。

一方で、富士見台西側の電気柵内にニホンジカの侵入が確認されたため、電気柵を一回り増設し二重柵を試行している。二重柵の効果については引き続き検証を行っていく。

八島ヶ原湿原に設置している常設の鋼鉄柵は、霧ヶ峰自然保護センター及びパークボランティアの方々が見守りを行い、引き続きその機能の維持に努めている。



車山肩 設置作業 (5月上旬)



車山肩 設置作業 (5月上旬)



車山肩 設置作業 (5月上旬)



富士見台 二重柵追加設置 (7月上旬)



電気柵内 開花状況① (富士見台二重柵)



電気柵内 開花状況② (富士見台二重柵)



電気柵内 開花状況③ (車山肩ビーナスの丘)



電気柵内 開花状況④ (車山肩二重柵)